

# 令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小53) 長崎市立(西山台小)学校

## 1 教育目標

心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成  
 学びいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい

## 2 学校経営方針

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目指す子ども像<br/>「学びいっぱい」……進んで学び、自分の考えを表現できる子ども</li> <li>「やさしさいっぱい」…礼儀正しく、思いやりのある子ども</li> <li>「元気いっぱい」……体を鍛え、粘り強い子ども</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目指す教職員像<br/>・児童に対する「教育愛」があふれる教職員</li> <li>・仕事に対する「情熱と使命感」を抱く教職員</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目指す学校像<br/>・子どもが行きたいと思う学校</li> <li>・保護者が通わせたいと思う学校</li> <li>・地域が支えたいと思う学校</li> </ul> |
|---|---|---|

## 3 重点目標

- 1 心の教育の充実………支持的風土・自治的風土の醸成
- 2 生活指導の充実………ルールを守る子どもの育成
- 3 学力向上………「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランス、学習規律・訓練の徹底、分かる授業の確立
- 4 体力の向上………体育科の授業の充実、外遊びの奨励、年間を通した運動の実施
- 5 特別支援教育の充実……一人一人の個性が輝く指導・支援体制の確立
- 6 地域との連携………学校と家庭・地域の連携の推進
- 7 教職員の働き方改革……働きやすい（働き甲斐のある）職場環境づくり

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	88%	88%	69%	「教育目標」「学校の雰囲気」については、昨年度比で落ちている。人権意識や学習規律の醸成を図る必要がある。「業務改善」について、昨年度比約2倍に肯定的割合が増えたことは、働き方改革の方策が功を奏したと考える。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	87%	92%	85%	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			85%	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			69%	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	83%	90%	46%	昨年度比でほとんどの項目微減となっている。生活指導及び学習規律指導などを「他者への思いやり」や「自己肯定感」などの人権教育の観点からも行う必要がある。また、教職員と児童・保護者と評価の差がある。これからも学校としての取り組みや児童の様子、経営方針などを伝えていき、差を埋めていく。
		挨拶をよくしている	80%	84%	85%	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	83%	77%	69%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	90%	82%	100%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	84%	80%	92%	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	93%	91%	62%	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	81%	95%	92%	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	93%	93%	100%		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	77%	87%	100%	昨年度比でほとんどの項目微減となっている。家庭学習については、児童と保護者・教職員の意識に隔たりがあるため、児童が主体的に学習に取り組むようにする。キャリア教育についても3者間の意識に差があるので、差を埋める努力をする。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	93%	87%	91%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	85%	74%	73%	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	79%	74%	91%	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		93%				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	89%	88%	100%	食と健康に関する教育や保護者・児童への啓発、体力向上に関する取組みを行っている結果だと考える。基本的な生活習慣については、保健便りや学校保健委員会などを通じて今後も啓発しながら、身に付けることができるようにする。体力向上についても長縄チャレンジなどの方策を継続する。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	76%	92%	83%	
		体力向上に努めている	80%	88%	89%	
	食育	食に関する教育活動を行っている	86%	93%	91%	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95%	91%	100%	学校HPの更新頻度の増加やtetoruでの文書配信により最新情報を確実に届けられたことが評価につながっていると考えられる。地域連携における児童の意識を向上させるため、方策を考える必要がある。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	85%	90%	100%	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	63%	91%	100%	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92%	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	91%	88%	100%	除草作業等で校舎周辺の景観が良くなっているところから修繕していることが結果につながっている。しかし、校舎の老朽化は否めず、特に便所改修の要望が保護者から数件上がっているため、今後も育友会と協力したり、学校予算との兼ね合いを考えたりしながら整備に努める。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			85%	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

ほとんどの項目において、児童と保護者の肯定的な割合が80パーセントを超えたことは、教職員一人一人の職務に邁進した結果であると考えられる。特に、分かりやすい授業を行っていることについては、校内研修を通してICT機器の活用を推進したり、長崎市教育委員会学力向上アドバイザーから御指導を賜りながら授業改善を行った結果もあると考えている。また、職場環境改善にも努めた結果も昨年度と比べて高くなったことも成果である。

しかし、心の教育については「他者への思いやり」「自己肯定感」を醸成する観点から、生活指導や学習規律指導などを行ったりする。キャリア教育についても将来の職業選択だけでなく、将来の人格形成の観点も含めるので指導を行う。

以上のことを重点化することで、学校教育目標に向かう児童を育む。

## 6 学校関係者評価

- 学習指導について、以下のことが話題に上がった。
  - ・児童にとって学習が、進路目的化せず楽しいものであってほしいこと。そのためには、実社会と結びついた内容であってほしいこと。
  - ・個の学力に応じた学びができるように配慮してほしいこと。
- 登校が難しい児童や家庭、自己肯定感を高める方策については、以下のことが話題に上がった。
  - ・自分の子どものことで悩み苦しんでいる保護者の支援をお願いしたいこと。
  - ・登校が難しい児童が、人との関わりをもてるようにしてほしいこと。
  - ・個に応じた評価をする「スモールステップ」を教師が心掛け、褒めて伸ばしてほしいこと。
- 教師が働き甲斐をもつために以下の話題が上がった。
  - ・スクラップ&ビルドにおける業務の見直しを図ってほしいこと。それにより、教師にゆとりが生まれ、児童や自分の家庭と向き合う時間を増やしてほしいこと。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

まず、学力向上や人権意識向上の観点から、ルールやマナーの啓発を行う。「西山台スタンダード」と名前を付けた学習用具をそろえる取り組みを行ったり、ルールやマナーを守ることが他人と自分を尊重したりすることを啓発していく。授業改善についても取り組んでいき、個に応じた指導の工夫や児童ができた喜びの享受や学んだことを生かす取り組みをすることにより、人権意識の向上の基盤である自己肯定感や自己有用感を高める。

また、登校が難しい児童については、学校や関係機関との連携を図ることで児童や保護者の支援を行う。そして、学校を含めた地域や社会と関わりをもてるようにする。

さらに、教職員が心のゆとりをもって児童と向き合えるようにするため、今後も来年度の日課を含めた働き方について見直しを行う。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。